

香川県 政策部 予算課
陸川 諭
Satoshi Rikukawa

平成26年 4月 総務省採用
同 自治行政局行政課
平成26年 8月 香川県政策部自治振興課
平成27年 4月 現職

香川県民の一人として

私は入省後4ヶ月で香川県へ赴任し、現在は、予算課という部署で農水産業関係の担当として予算編成の仕事をしています。最も大きな仕事は、事業課からの予算要求に対して査定を行うことであり、事業課の方の思いと県全体の財政運営という大きく二つの判断軸の間で、重要な判断をしなければいけません。その重責と日々の業務に追われ、行き詰ってしまうこともあります。そんな時こそ、「地方勤務では、その地方の住人の一人として物事を判断する」との赴任前の気持ちを思い出し、所属課・事業課両方の経験豊かな職員の方々の知恵も借りながら、日々の業務に取り組んでいます。

国の交付金に関する業務です。国の動向に広くアンテナを張り、県の事業にどう上手く活用できるか、交付金担当としての考えをまとめ、上司に報告します。一日の仕事に区切りがついたところで、次の日の予定を確認してから、退庁します。

課長への説明を経て、部次長へ査定案の説明を行います。これまでにどんなに悩んでも、この場においては、自分の判断に自信と責任を持って、簡潔に説明を行います。

やはりうどんです。早くて安く美味しく。県庁近くには数件のうどん屋さんがあり、味の違いを楽しめます。週末には、県内の美味しいお店の噂を聞きつけ、食べにいったりもします。

事業課からの要求に対する査定案を資料にまとめます。香川県の農水産業のために必要な事業が否かだけでなく、県民の方を含めた対外的説明ができるか否かも含めて、予算担当としての考えをまとめなければいけません。最も悩む考える場面です。

予算は、地域の課題とその対策としての事業要求から始まります。課題に関する問題意識を事業課の方と共有しつつ、予算担当としての視点から議論を行います。事業の必要性和具体的内容を深めていきます。

県庁までは毎日自転車で通勤します。満員電車が揺られることもなく、自宅から数分で職場まで通えることも地方赴任の良さの一つです。



登庁
8:30



事業課からのヒアリング
9:00



査定案の検討
10:00



昼食
12:00



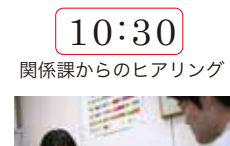
部次長査定
15:00



交付金業務
19:00



始業・情報収集
9:30



関係課からのヒアリング
10:30



昼食
12:00



調べ物
14:00



懇談会準備
16:30



退庁
20:30

課内のスケジュールを確認し、一日の流れを大まかにシミュレーションします。また、仕事に取りかかる前の情報収集も大切な仕事。最新ニュースのチェックも欠かせません。

現行制度の見直しには、実際に制度を「運用」している課室の意見が不可欠であるため、関係課とは頻りに意見交換を行います。制度上の課題を聞き取り、今後の検討材料にします。

職場の同期とゆったりランチ。普段は職場でお弁当を持ち寄って食べていますが、予定が合えば銀座へもランチに行きます。午後への元気をチャージ！

午前中の打合せ内容を整理する傍ら、疑問に思ったことを調べて解消します。あるべき制度設計について考える材料として、海外の法律や制度を調べることも。

仕事後は頭を切り替えて、職場の同僚や学生時代の友人と飲みに行くこともしばしば。自分の時間を充実させることで、リフレッシュして毎日の仕事に臨みます。

制度の「未来」を描く

電波を有効に活用するための制度の検討を行っています。スマートフォンやテレビはもちろん、家電製品や車など日常生活の様々な場面で活用されている電波ですが、実は無制限に使うことができるものではありません。有限希少な「資源」の一種なのです。IoTの進展等により、今後ますます電波の果たす役割が重要なものになっていく分、その需要はより増大することになります。限られた「資源」をどのように効率よく配分し、最大の効果を得るかということ、これが私たちが取り組まなければならない課題です。こうした取組の一環として、現在、懇談会において、有識者や関係事業者の方々に協力いただき、「いかに効率よく電波を活用するか」「電波を使ったビジネスを日本の強みにするにはどうしたらよいか」といった議題について検討を重ねているところです。今後の政策の在り方をゼロから議論できる環境に大きなやりがいを感じつつ、「電波」に囲まれながら過ごす毎日です。



総務省 総合通信基盤局
電波部 電波政策課
功刀 奏
Kanade Kunugi

平成26年 4月 総務省採用
現職

先輩からのメッセージ

技術系